

平成27年度 専門部会 就労支援部会の活動報告

日 時	会 議 名	内 容	具 体 的 活 動
平成27年 7月13日	第1回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長および副部会長選出 ・ 昨年度までの活動状況の振り返りと就労支援の現状・課題・活動テーマの確認および共有。 ・ 部会活動の進め方の確認 <p>AとBの2つのグループに分けて活動。</p> <p>A・・・H26年度に初回実施したサロン(うえるコン in いこま)の実施。市内就労系事業所等に協力を依頼</p> <p>B・・・障がい者の社会参加や就労へ向けて、何か手伝えることの提供や職場体験等の受け入れを一般企業へ依頼するためのチラシを作成し啓発する。</p>	<p>自己紹介、意見交換</p> <p>A B各グループに分かれて今年度の具体的な活動計画について検討。</p>
8月25日	Aグループ ワーキング	H27年度サロン実施に向けて H26年度のサロンの総括するための方法(書式等)の検討	意見交換
9月8日	第2回部会	今年度の活動について	<p>各グループおよび全体で意見交換・進捗報告</p> <p>A：他事業所への協力依頼に向けて H26年度サロン実施の総括</p> <p>B：啓発のためのチラシ作成</p>
10月13日	Aグループ ワーキング	H26年度サロンの総括	目的・実施内容・課題等整理し、H27年度実施に向けて市内他事業所へ協力を求めるための資料作成等
11月10日	第3回部会	今年度の活動について	<p>各グループおよび全体で意見交換</p> <p>A：サロンの実施に向けて</p> <p>B：啓発のためのチラシ作成</p>
1月12日	第4回部会	//	//
2月5日	サロン実施 (Aグループ)	働く障がい者のための「うえるコン IN いこま」	19～21時30分 コミセンにて

3月8日	第5回部会	サロン実施報告 来年度について検討 課題の共有・部会編成	意見交換
------	-------	---------------------------------	------

就労支援部会 活動テーマ

「多様な働き方を応援する仕組みを生駒市の中に構築する」

平成27年度 活動目標

「“今働いている人”と“今から働きたい人”に足りない（必要な）ものについて検討する」
（平成26年度活動目標継続）

活動内容

1. 就職している障がい者のための“うえるコン IN いこま”の開催

<目的>

障がい者の就労支援として過去に当部会では、生駒市に住む障がい者の「働きたい」を形にする」というテーマのもと、各種イベント開催や市役所での職場体験実習実施の開拓などに取り組んできた。昨年度には就労している障がい者の中には、障がいゆえのしんどさを勤め先で分かち合う仲間がいないため、孤独な思いでいる人がいるということを経験し、障がいがあっても生き生きと働き続けるための憩いの場としてまた仲間同士のつながり場としてサロンを開催した。

参加者の声から、必要性を確認し今年度も実施した。実施にあたり、地域に根ざし継続実施する方法等の検討を含め、部会メンバー所属以外の市内就労系事業所等、3か所への協力を依頼し、2か所からの協力を得て実施した。

<内容> 食事をしながらの情報交換や交流

<対象者> 就職している障がいのある方（原則として生駒市民および生駒市在勤者）

<開催日時> ①平成28年2月5日（金） 19時00分～21時00分

<開催会場> ①生駒市コミュニティセンター 401
〒630-0257 生駒市元町1丁目6-12

<参加費> 1500円（飲食代） <定員> 30名程度（申し込み制）



2. 市内一般企業向け啓発チラシの作成（障がい者の社会体験や職場体験受け入れ）

生駒市内には障がい者雇用に至る可能性のある大きな企業が少ないことを再確認し、市内の対象者と地域の企業との間での実現可能と思われる活動を熟慮した。

そして、障がい者の就労への理解と就労へのステップアップのために、障がい者（特別支援学校高等部生徒含む）の“社会体験”として、また、自分に合った仕事を探すことにつながる様々な職場体験の場がほしいということを広く知ってもらうことや、実際に『企業で行うイベント時の作業や通常の業務の中での仕事や作業を体験をさせてほしい』ということを伝えるためのチラシを作成した。

各機関で、体験したい対象者がいる時には、問い合わせ先に機関名（事業者名や学校名）を入れることで使用できるものとなっている。

平成28年度の活動方針

平成23年までは就労支援ワーキングとして、平成24年度からは『就労支援部会』として、生駒市の障がい者にとっての“就労”の課題と部会でできることは何なのかを整理することから様々な活動に取り組んできた。平成26・27年度の活動から、サロンを地域で継続実施する方法がないかという検討等、「就労支援」として残る課題はある。

しかし、近年、市民の相談からニーズとして比重が大きくなってきた「地域で暮らすための様々な課題」にも取り組む必要が出てきたため、「暮らし部会」として活動することとする。就労の課題も障がい者の“暮らし”に関わる課題であるということをふまえ、引き続き課題解決に取り組む。